



おぼえがき
1日目
平成28年9月17日(土) 雨

12:30 裏千家学園にて受付
13:00 開校式
13:10 総本部講義
「青年部活動について」
事務局 局長兼組織部部长
長谷川 義翁 様

14:20 グループディスカッション
概要説明～
模擬青年部会議

16:30 京都シテイホテル
チエックイン

18:00 懇親夕食会
膳處 漢(せせか)ん)ぼつちり
原様 長谷川様
松尾様 中田様 ご臨席

20:00 ホテル一階広間にて
全体ミーティング

22:00 呈茶委員会による呈茶
(全国代表者会議呈茶チーム)
茶銘「伊都岐の白(いつき)」
お茶の原寿園 謹
蔵島神社野坂宮司お好み

お菓子
「地元ツアー」
「松山」(有光)
山田屋まんじゅう製
「山田屋まんじゅう」
「富山」(池田)
リンデン製
「売薬さん」
「新潟」(磯部)
里仙製「磯のつと」
「奈良」(北原)
鶴屋徳満製
「青丹よし」
(あおによし)
「広島」(平ノ内)
にしき堂製
「香川」(谷本)
白米堂製
「観音寺」
(かんのんじ)



9月18日(日) 雨

9:00 裏千家学園
OB講義「青年部活動の喜び」
元青年部全国委員会委員長
現広島支部副支部長
原昌三 様

10:10 講師への質疑応答と
グループディスカッション

11:00 模擬青年部 発表
各班10分
◆城下町青年部
◆B1青年部
◆古賀青年部
◆ピースフルハートフル
プロジェクト
◆肉藤青年部

12:00 昼食(東急ホテルお弁当)
解散
抜け落ちが多々ございます
お詫び申し上げます

今回は自主研修委員会の皆様に感想を頂きました。ご協力ありがとうございました。

学んだこと

- ・リーダーとして大切な心構えを学んだ。
- ・人間関係を円滑にするには『人を敬い、認めることが大事』というお話を心に刻んだ。
- ・意見が違ふことは当たり前であり、正しいことは一つではない。どれを選ぶかである。
- ・こつこつやりたいと思つたらとことん説得する努力をする。
- ・みんなが居場所がある青年部をつくるよう心を尽くす。
- ・文化に触れていることをおこぼしてはいけない。
- ・中途半端にやれば愚痴がでる、いし加減にすれば言い訳ばかり、一所懸命にやれば知恵がでる」という言葉が心に残つた。
- ・周年行事は先輩の想いを引き継ぐ行事であることを知った。
- ・チャレンジをあきらめるときに楽しさも出会いもないとして、松下幸之助の問題が起きた時に楽しく解決していく言葉が印象的だった。
- ・人生はリレー。繋いでいくことの大切さ。その為に持ち続ける数々の方針を学んだ。
- ・青年部活動は本来、その時々にあつた活動を計画するべきで、計画していいのだ。という事を改めて学んだ。
- ・任せることと、投げっぱなしなのは違う。役を与えたらフォロワーが大切。フォロワーしないと役をもちつても辛さしか残らない。
- ・青年部活動をより楽しみ、仲間とともに作り上げていくことの大変さとやりがいとを学んだ。
- ・地域によって活動方法や方針にも多少の違いを感じ、今後の青年部活動に取り入れたいアイデアがあつた。

嬉しかったこと

- ・他の青年部の取り組みや活動の話をお聴きしたこと。
- ・青年部の抱える課題を仲間と一緒に考え伝え合えたこと。
- ・時間的に責任ある行動がしつかりできていたこと。
- ・青年部の先輩である原様から有意義なお話をたくさん伺えたこと。
- ・ご自身の青年部活動のご経験に基づきご助言を頂いたこと。
- ・原寿園さまからお抹茶を頂戴し、L-Tみんなで研修1日目の夜おしく頂いたこと。
- ・青年部活動を長くされ、親・総本部・青年部全ての気持ちと理解されている原様のお話を聴き、今の自分達に必要なことがクリアになったこと。
- ・青年研修会の時よりももっと浸透して青年部という存在の全国における姿を知り考察する機会になったこと。
- ・同期生について一段と相手を知る機会となったこと。
- ・青年研修会の時は他のグループの成果を知ることができなかったのので今回のように発表があるといういろいろな意見が聞けたこと。

反省点

- ・皆さまと打ち解けてきて久しぶりの単独研修ということもあり、少し緊張感が不足していた。
- ・2日目の昼食後、もう少し早く学園から退出するべきだった。
- ・今回の研修では日頃の青年部活動を通して先輩方が、言葉や行動で導いて下さっている大きさを実感した。
- ・青年部活動の中で、自分の考えの甘さがわかったこと。もっと少し体調管理を怠つたこと。もっと少し休日の有効に使い、体調管理に心がけるべきであった。

次回の課題

- ・総本部から送られてきた研修工程をイメージをしていなかった。
- ・自分が青年部について、茶道の流れについて、余りにも浅い表面上の知識と想いしかなかったと気付いた。
- ・自分の青年部の現状ばかり喋つてだけ。自分の青年部の現状は要点だけを伝え、他の人の話をもっと聞くべきだった。
- ・原様の講義の後、質問がすぐにあげられなかった。

- ・皆で集える残りわずかな機会、緊張感を持ちながら感謝の心で次回の研修を臨みたいと思う。
- ・引き続き時間厳守の行動を全員でとれるように心がける。
- ・次回は親支部、学茶との関係について考える機会を頂けるよう。それぞれ地域に課題があるがしっかりと学んでいきたい。
- ・皆と活発に意見交換しあえるよう、皆がもっとリーダーとなって時間内にゴールを考えた物事を進める。
- ・体調管理。
- ・研修のタイムスケジュールを事前によく確認しておくこと。
- ・残り2ヶ月2回となった研修を浅く上澄みすくって過ごすのではなく、能動的に学んで過ごしたい。
- ・出来るだけ人の話を聞く。自分の意見は後、ついつい自分の話をしたくなるので、感情を抑える。

その他

- ・模擬青年部の発表は、それぞれ個性が出ていて楽しかった。
- ・原さまはL-Tからの質疑応答にもご自身の経験をお話し、親身かつ

率直にお答えくださいました。心より感謝申し上げます。だから原さまのようにお会いしたらみんなが好きになつてしまつたような魅力にあふれた方々が全国委員になられるのだと思つた。思いを伝えることの難しさを実感するとともに、理解しようとしてくださる仲間の素晴らしいことに感謝。

初めて皆さんと会つた2月の2日間も学園の窓からくつきり山が見えた。今回の研修中も窓から望めたが明らかにあの時とは違ふ心持ちの今がある。



自主研修委員長 ご挨拶

第29期LT出向員の皆様いつもありがとうございます。初めてお顔を合わせ、自主研修委員長を仰せつから、あつという間に時間が流れております。第4回研修を前後して多くの自主研修が実施されました。企画から実施まで、リーダーとして力を尽くして下さつた自主研修委員の皆様ありがとうございました。長、というお役に頂いたとき、皆がLT出向員という同じ立場で集つている中、どのよう役目を果たすべきかと考えました。そして、各々に、長、を経験する機会を持つて頂くよう考えました。実際に経験したからこそ学べる事があります。反省することもあり、今後は必ずリーダーとして活躍することを願われ集つたことと

思います。自信などありませんが、私もそのひとりです。だからこそこの研修での学びを単位青年部に持ち帰らなければならぬと思つていました。人の経験だけでなく、集つた34人の経験を皆で共有し、より大きな学びとできるよう、最後まで自主研修委員一丸となって努力して参ります。

1年間の研修期間中にお会いできる時間は、ほんのわずかでですが、離れている多くの時間も様々な形で交流し絆が深まつていくことを実感しています。残りわずかな出向期間ですが、全力で学びましたと思つています。そして、この先もずっとよろしくお願ひ致します。

第29期LT出向員
自主研修委員長

福井青年部 吉岡供仁子

編集後記

今回の研修は、より具体的な青年部のあり方を考えるものでした。また、集中的に自主研修を行い、特にお道具への学びを深めることができた。自主研修については別纏として頂きます。

12月の代表者会議のお呈茶へ向けて、不慣れながら準備を進めておりますが、どれも大切な学びとなつております。慌しい時もありますが、気を抜かずひとつひとつ力を尽くしていきたいと思つています。

広報誌作成担当
山梨県青年部
古屋珠美